【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2000-157745(P2000-157745A)
【公開日】平成12年6月13日(2000.6.13)
【出願番号】特願平11-262796
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　13/00　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　13/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　13/00　Ｆ
Ａ６３Ｆ　13/00　Ｐ
Ａ６３Ｆ　13/10

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
制御部と入力部と表示部とを備えるゲーム装置の前記制御部が、仮想三次元空間内でゴルフボールオブジェクトを打撃する時、前記ボールオブジェクトの回転方向を設定するために前記ボールの打点を決定する処理を実行する、ゴルフシミュレーションゲーム処理方法であって、
前記制御部は、
前記ゴルフボールオブジェクトの回転方向を設定するためのダミーゴルフボールオブジェクトと、当該ダミーゴルフオブジェクト内に形成される打点オブジェクトと、当該打点オブジェクトの位置を変更させ得る範囲を限定する形状を持った領域と、を前記表示部に表示する第１の処理と、
前記入力部からの第１の入力情報に応じて前記ダミーゴルフボールオブジェクトの範囲内での前記領域の位置を決定する第２の処理と、
前記入力部から発せられる、前記第１の入力情報の後の第２の入力情報に応じて、前記位置が決定された前記領域内で前記打点オブジェクトを移動して当該打点オブジェクトの位置を決定する第３の処理と、
当該決定された前記打点オブジェクトの位置に打力を与えて前記ゴルフボールオブジェクトを前記仮想三次元空間内に打ち出す第４の処理と、
を実行する、ゴルフシミュレーションゲーム処理方法。
【請求項２】
前記第３の処理は、前記領域の形状を前記ダミーゴルフボールオブジェクトの外郭線に対応して変形する、請求項１記載の処理方法。
【請求項３】
前記第３の処理は、前記領域を前記ダミーゴルフボールオブジェクトの中心からずれた位置に形成する、請求項１記載の処理方法。
【請求項４】
制御部と入力部と表示部とを備えるゲーム装置の前記制御部が、仮想三次元空間内でゴルフボールオブジェクトを打撃する時、前記ボールオブジェクトの回転方向を設定するた

めに前記ボールの打点を決定する処理を実行する、ゴルフシミュレーションゲーム装置であって、
前記制御部は、
前記ゴルフボールオブジェクトの回転方向を設定するためのダミーゴルフボールオブジェクトと、当該ダミーゴルフオブジェクト内に形成される打点オブジェクトと、当該打点オブジェクトの位置を変更させ得る範囲を限定する形状を持った領域と、を前記表示部に表示する第１の手段と、
前記入力部からの第１の入力情報に応じて前記ダミーゴルフボールオブジェクトの範囲内での前記領域の位置を決定する第２の手段と、
前記入力部から発せられる、前記第１の入力情報の後の第２の入力情報に応じて、前記位置が決定された前記領域内で前記打点オブジェクトを移動して当該打点オブジェクトの位置を決定する第３の手段と、
当該決定された前記打点オブジェクトの位置に打力を与えて前記ゴルフボールオブジェクトを前記仮想三次元空間内に打ち出す第４の手段と、
を実行する、ゴルフシミュレーションゲーム装置。
【請求項５】
仮想三次元空間内でゴルフボールオブジェクトを打撃する時、前記ボールオブジェクトの回転方向を設定するために前記ボールの打点を決定する処理を実行する、ゴルフシミュレーションゲームを、制御部と入力部と表示部とを備えるゲーム装置の前記制御部に実行させるプログラムが記録された記憶媒体であって、
前記プログラムは、
前記ゴルフボールオブジェクトの回転方向を設定するためのダミーゴルフボールオブジェクトと、当該ダミーゴルフオブジェクト内に形成される打点オブジェクトと、当該打点オブジェクトの位置を変更させ得る範囲を限定する形状を持った領域と、を前記表示部に表示する第１の処理と、
前記入力部からの第１の入力情報に応じて前記ダミーゴルフボールオブジェクトの範囲内での前記領域の位置を決定する第２の処理と、
前記入力部から発せられる、前記第１の入力情報の後の第２の入力情報に応じて、前記位置が決定された前記領域内で前記打点オブジェクトを移動して当該打点オブジェクトの位置を決定する第３の処理と、
当該決定された前記打点オブジェクトの位置に打力を与えて前記ゴルフボールオブジェクトを前記仮想三次元空間内に打ち出す第４の処理と、
を前記制御部に実行させる、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６７】
図１０は、操作部材２１の操作（傾斜）方向と、ダミーゴルフボール４１０へ付与した打点４１２の位置、並びに飛行方向が示されている。図１０において、４１４は打点を変更させ得る方向を示した細幅部である。アナログ操作キー２１を上または下に倒すと、ダミーゴルフボールの上下方向に前記細幅部４１４が形成される（（Ａ）、（Ｂ））、操作部材２１を左右に倒すと、ダミーゴルフボールの中心より左右方向にずれた細幅部４１４が形成される（（Ｃ），（Ｄ））。例えば、ダミーゴルフボールの右又は左の１／４を占有する形で形成される（（Ｅ））。アナログ操作キー２１を斜め方向に倒すと、左右方向への傾きが小さいので、細幅部４１４がダミーゴルフボール４１０の中心部分より少しずれた位置に形成される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６９】
さらに既述のようにテイクバックの間、遊戯者はさらにアナログキーを前記細幅部が形成されている上下方向に倒すと、クラブがボールに当たる迄の間、打点を前記細幅部の領域中でアナログ操作キーを倒している方向に移動させることができる。